

2024年

第十五回文全協歴史講座

故・石部正志さん
(文全協元代表委員)
追悼

元宇都宮大学教授で、文化財保存全国協議会(文全協)の代表委員を担われた石部正志さんが、昨年92歳で逝去されました。長年、文化財保存運動の第一線で活躍された石部さんを偲びつつ、その学問的業績を顕彰する歴史講座を企画しました。ぜひご参加ください。



石部正志さん(2013年6月)

6月8日(土) 13:30~16:30
大阪市教育会館 12号室

地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅10番出口より東へ
JR環状線「森ノ宮」駅より西へ 各駅より徒歩約10分

事前申込不要
資料代500円

いまおふみあき
講師：今尾文昭氏(関西大学非常勤講師)

石部正志著「百舌鳥三陵への疑義」に学ぶこと

著作は1968年に発表された。その頃、「陵墓」に対する疑義を学界に堂々と問うことは、考古学分野では、ほぼなかったものと見受けられる。「仁徳陵」に対して大山古墳の名称が提議され、実年代と共に議論されるのは70年代なかばのことである。先駆的な学業を辿り、先生を偲ぶと共に、後学に託されたものは何かを考えるひとときにしたい。

すずきしげはる
講師：鈴木重治氏(文全協常任委員・日本考古学協会シニアフェロー)

先輩・石部正志さんから学んだこと

石部さんと私は、1950年代に同志社大学で考古学を学んだ。以来、考古学を取り巻く社会的環境が大きく変わる中、共に考古学の世界を歩んできた。その間、先輩・石部さんから学んだ考古学の研究法と、文化財の保護・活用とは何か?具体的な例を挙げて考え、感謝し、追悼する。

主催・問合せ 文化財保存全国協議会 事務局 杉田 義 TEL・FAX 0743-52-1404